

伐採業者選びで重要なチェックポイント

森林整備、支障木伐採、草刈等の業者を選ぶ際に、以下のポイントを確認することで、未然にトラブルを防ぎ、適正価格で依頼することができます。料金が安いだけで決めてしまうと、後々トラブルに巻き込まれる可能性があります。

必要な資格を持っているか、必要な教育を受けているか確認する

伐採などの作業は専門的な技術が必要な作業です。業者が法令に定められた適切な資格や教育、許可を持っているかを確認しましょう。無資格や無教育で作業する業者は、違法です。

例えば、

- ・チェーンソー作業従事者特別教育修了（労働安全衛生規則第36条第8号）：チェーンソー作業に必要
 - ・刈払機取扱作業安全衛生教育（厚労省通達平成12年2月16日基発第66号）：安全な刈払い機作業に必要
 - ・林業作業士等：林業の専門知識を持つ資格
 - ・フルハーネス型墜落制止器具を用いて行う作業に係る特別教育等：高所での作業に必要
- ※資格を持つ業者なら、安全対策が徹底されており、適切な方法で作業を行います。
伐採業者のホームページや名刺で資格情報を確認するか、見積依頼時に各種証明書の提示を求めると安心です。

費用の明確な見積書を出してくれるか

事前に書面での見積もりを取り、作業内容ごとの費用を明確にしてもらうことが大切です。

見積もりの詳細が不明瞭な業者は避け、事前にすべての費用を確認しておきましょう。

各種保険に加入しているか

チェーンソー・刈払い機作業は大きな危険を伴うため、事故のリスクがあります。業者が適切な保険に加入しているかを確認しましょう。

主な保険の種類

- ・賠償責任保険：作業中に他人の家や車などを傷つけた場合の補償
- ・労災保険：作業員のケガを補償

「万が一事故が起きた際の補償はどうなりますか？」と事前に業者に確認しておくで安心です。

※労災保険未加入やコストを抑えるために賠償責任保険などに加入していない業者も。万が一の事故の際に補償を受けられない可能性があるので十分注意しましょう。

各種届出や許可の手続きを確認してくれる

森林での伐採作業をするときは、様々な届け出や許可が必要な場合があります。事前にこの手続きが必要かを確認し、協力してくれる業者を選びましょう。

例えば

- ・立木の伐採の届け出：森林で樹木を伐採するときに必要
 - ・伐採許可：制限林などで伐採するときに必要
 - ・道路使用許可：道路を片側通行などの規制をするときに必要
- ※森林で無断伐採を行うと、罰則もあり十分注意しましょう。行政機関が衛星画像を活用することにより、無断伐採の可能性のある箇所を効率的に把握することが可能になっています。

近隣住民への対応や作業時の安全対策

伐採など作業は騒音や木くずの飛散が発生するため、近隣住民への配慮ができる業者を選ぶことが大切です。

信頼できる業者の対応

- ・作業前に近隣へ挨拶をしてくれる
 - ・安全対策としてヘルメットや安全帯などの装備を徹底している
- ※作業後の清掃までしっかり行ってくれる業者なら、トラブルの心配なく依頼できます。